

## 概要

本プログラムは、RA2000シリーズ、DL2800でHD収録中に電源が切れた場合、残されたファイルが読み出し可能となる様に情報を補正するものです。修復可能なファイルは「通常」モードで収録した拡張子FSD、FPPのファイルです。

(ファイルの復旧を保証するものではありません。また「リング」モードで収録したファイルについては別途ご相談ください)

## プログラムの準備

本プログラムはWindows XP Professional SP2 で動作確認されています。

1. 本プログラムを実行するには、NI LabVIEW RunTimeEngin7.1.1 が必要です。以下のサイトからダウンロードしてインストールしてください。


[http://digital.ni.com/softlib.nsf/websearch/A2E189258C741CB786256F54006A7705?opendocument&node=132070\\_US](http://digital.ni.com/softlib.nsf/websearch/A2E189258C741CB786256F54006A7705?opendocument&node=132070_US)

2. DataRescue.EXEファイルを実行(自己解凍)すると、「DataRescue」というフォルダが生成されます。この中の“setup.exe”を実行すると本プログラムのインストールが行われます。

3. プログラムの起動は、「スタート」 - 「プログラム」 - 「NEC\_Avio」から「RA2000\_DataRescue」を実行してください。

## ファイルの修復手順

1. 修復ファイルの選択

「データファイルパス」の白枠ないに対象のファイルをドラッグ＆ドロップするか、 キーを押して表示されるダイアログで対象のファイルを指定してください。

2. 「自動計算」キーを押します。

データ数(「データ領域サイズ」を「一ラインのデータ数」で割った値)を自動的に算出し、登録が行われます。

3. 「適用」キーを押し、修復情報を上書きします。

4. 修復後の「データ数」の表示が0の場合、そのファイルには有効データがありません。

(データ長「最大」での記録開始時に、ファイル名の最後にAから始まる連番のファイルが複数自動登録されます。実際にデータが書き込まれなかったものは自動計算すると「データ数」が0となります。これらのファイルは通常の記録終了時には自動的に削除されます。)

以上で修復完了です。  
RAビューア、ユニファイザ等のプログラムで波形を確認して下さい。



## 注意事項

- 終了時刻などの時刻情報の修正機能はありません。このため修復したファイルでは再生データの時刻を正しく表示することはできません。

以上